

斑鳩町農業委員会だより



創刊号

令和6年10月15日



法起寺周辺のコスモス(10月)

発行 斑鳩町農業委員会
〒636-0198 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西 3-7-12

編集 斑鳩町農業委員会広報委員会
TEL 0745-74-1001 (代表)

1. 創刊のごあいさつ

斑鳩町農業委員会 会長 澤田 昌巳

「斑鳩町農業委員会だより」を創刊するにあたり、ごあいさつ申し上げます。

農業を取り巻く情勢は、農業者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加など、様々な課題を抱えております。斑鳩町農業委員会委員・農地利用最適化推進委員は、農家の皆様の代表として、斑鳩町の農地・農業を次世代に継承していくため、様々な取り組みを推進していく所存であります。

今後も、農家のみなさまをはじめ、関係機関、住民のみなさまのご協力、ご支援をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

2. 農業委員会委員・農地利用最適化推進委員の紹介

	氏名	担当地区	氏名	担当地区	氏名	担当地区
会長	澤田 昌巳	東部・法西町	奥野 稔	五丁北	西谷 喜代嗣	東・中・西興留
副会長	塚原 康裕	岡本・三井・幸前	坂本 博彦	目安	辰己 昭清	稲葉車瀬
農政特別委員長	岡田 功	並松・西里	三船 和洋	服部	伊藤 良	五百井
農政特別副委員長	宮崎 亮	北部・錦・中部・西部	井上 卓也	神南	吉岡 秀起	小吉田
	仲 敬可	高安	安井 義和	三町	梅崎 祥久	東里・白石畑
	安村 博一	東里・白石畑	野口 英治	五丁南	生田 敏史	阿波・新家・駅前

※現委員の任期は、令和5年7月20日から令和8年7月19日までです。

3. 農業委員会って？

農業委員会は、農地法に基づく農地の権利移動の許可、農地転用案件への意見具申など、農地法等の法令に基づく事務や農地等の利用の最適化の推進(担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)に関する事務を執行する行政委員会として市町村に設置されています。

4. 農業委員会の主な業務

①総会の開催

毎月12日を基本に農業委員会総会を開催し、農地の売買や賃借の許可や、農地転用案件の審議を行うとともに、遊休農地の発生防止・解消などの農地等の利用の最適化の推進に係る活動について協議を行っています。

②農地パトロール

地域の農地の利用状況の確認や耕作放棄地の実態把握と発生防止・解消のため、毎年8月下旬から9月上旬に、町内各所の農地をパトロールしています。パトロールの結果、適正に管理されていない農地については、所有者に対し、利用意向調査を実施しています。

③斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクト推進委員会

奈良県、奈良県農協、町建設農林課、町農業委員会等の団体を構成員とし、斑鳩町の農業発展をあらゆる方向から考え、魅力と活力にあふれる元気な地域農業の推進することを目的に、遊休農地を活用し、地域特産農産品の開発や調査研究、交流や食育を推進するイベントを実施しています。

《斑鳩の里・農と食の活性化プロジェクト推進委員会の活動》

平成18年6月に設立し、町内の遊休農地を活用した特産農産品の開発や収穫体験などの農業振興活動を実施しています。現在では、菜の花、黒米、じゃがいも、サツマイモを栽培しており、菜の花や黒米については、菜種油や黒米(玄米)として製品化し、斑鳩ブランド 2023 の認定を受けています。なお、各種作物の栽培には、町内から回収した生ごみを活用した完熟堆肥「斑鳩の環」を大栄工業(株)から提供していただき、循環型社会の形成を推進しています。

〈栽培の様子〉



じゃがいも栽培サポーター植付(2月)



菜の花の開花(4月)



町内園児のじゃがいも収穫体験(6月)



サツマイモの収穫(9月)



黒米の収穫(10月)



菜の花の植付作業(11月)

〈製品化〉

製品化された菜種油と黒米は、斑鳩町観光協会や斑鳩町商工会にて販売しています。



菜種油(180ml)
500円/本
(税込)
※完売御礼



黒米
(玄米 100g)
200円
(税込)

黒米は、3000年以上前に日本に伝わった古代米です。米の色素であるアントシアニンも含まれるなど、栄養成分が豊富で、白米と一緒に炊くと、美しい紫色に炊きあがります。

※菜種油、黒米、じゃがいも、サツマイモは、町内の保育所、小中学校に納品しており、地産地消学校給食の材料として使用しています。

〈菜種油を法隆寺へ奉納〉

平成27年度から、製品化した菜種油と、安堵町灯芯保存会が作製された灯芯を法隆寺に奉納しています。奉納した菜種油と灯芯は、法隆寺にて奈良時代から執り行われている正月の伝統行事である「修正会(しゅしょうえ)」において使用される灯明の材料として活用していただいています。



《産業まつり2024》

今年度も、斑鳩の里文化芸術祭と合同で、産業まつり2024が11月2日(土)に、いかるがホールにて開催予定です。

産業まつりでは、町内の農商工団体による物販や飲食店、農産物の販売、エア―遊具などがあり、子どもからお年寄りまで、楽しめるイベントです。

農業委員会でも、黒米の販売のほか、黒米ドーナツやさつまいもスティック、焼き芋の販売を予定しています。

みなさんのご来場をお待ちしています。



《農産物品評会》

産業まつりの開催に合わせ、農産物品評会が開催されます。

農産物品評会では、町内農業者から自慢の農産物が出品され、審査員による審査が行われ、入賞者には式典で表彰が行われます。また、出品された農産物は、産業まつり当日に、一般展示を行った後、即売会にて一般販売されます。農家自慢の農産物をぜひ見に来てください。



農産物品評会(一般展示)



出品作品の展示



農産物品評会即売会

《こども食堂へ米を進呈》

こどもに栄養のある食事や温かな団らんを提供する活動を行っている「こども食堂いかるが」と「法隆寺 Cafe 子ども食堂」に対し、農業委員会で遊休農地を活用して栽培した斑鳩町産米のヒノヒカリ 300 kgを進呈しており、子ども食堂の食材として役立てられます。



《紅葉まつり》

毎年、竜田公園内で開催される「紅葉まつり」へ出店しています。今年は12月1日(日)に開催予定です。

